

粘りが強く風味豊かで天然物に近い味

ジネンジョ「夢とろろ」出荷始まる



愛知県有数のジネンジョ産地である豊田市旭地区で 11 月 17 日（月）、ジネンジョ「夢とろろ」の出荷が始まります。「夢とろろ」は同市稲武町にある愛知県農業総合試験場山間農業研究所が育成した品種で、粘りが強く食味が良いのが特徴です。

旭自然薯組合では、2003 年から同品種の栽培を本格化させてきました。パイプ栽培のため、まっすぐ伸びたきれいなジネンジョを採ることができます。今年は夏の高温や少雨などの影響で昨年より出荷量は少なくなる見込みですが、生産者による害虫防除など、徹底した栽培管理により高品質なジネンジョが期待されます。

「夢とろろ」は、11 月 25 日（火）から J A 旭営農センターや J A 産直店舗で順次販売するほか、J A のネットショップ「MEKIKI」でも 11 月 16 日（日）まで予約販売します。

【取材内容】

日時：2025 年 11 月 17 日（月）9:00～10:00

場所：J A あいち豊田 旭営農センター

（豊田市小渡町七升時 13-13）

J A 施設へ生産者がジネンジョを出荷します

※取材にお越しの際は、事前にご連絡ください

※旭営農センターでの取材となります

※農家の畑での取材はできませんのでご了承ください



▲出荷場へジネンジョを持ち込む農家の取材や発送の梱包作業などが撮影できます

【販売について】

販売日：2025 年 11 月 25 日（火）～ 順次販売予定

販売場所：J A あいち豊田旭営農センター

グリーンセンター藤岡・松平店、産直プラザ

※入荷状況により取扱いがない場合があります

出荷量：2.8 トンを出荷予定（昨年は 3.0 トンを出荷）

【旭自然薯組合】

26 戸の農家が所属し、合わせて約 160 アールの畑で 1978 年からジネンジョを栽培しています。

山口県からパイプ栽培の指導を受けて、県内では初のパイプ栽培を取り入れ、2003 年から「夢とろろ」の栽培を始めました。ジネンジョは出荷するまでに約 2 年かかり、栽培期間が長い作物の 1 つです。



▲お歳暮など贈答用にも人気

＜お問い合わせ先＞

J A あいち豊田 営農生活部 旭営農センター 担当：磯村・小野

〒444-2846 豊田市小渡町七升時 13-13 電話（0565）68-2223

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

